



毎日の仕事や生活でなにげなく使っているもの。

例えば、トラックやバスが走り、歩行者が歩く道路があります。道路は、物を運び、人が移動するための土台となり、産業や生活を支え、個性と活力あるまちづくりを進める基礎となるものです。

同じように、蛇口をひねると流れる水道、汚物や排水、雨水を流す下水道、子供たちが遊び、スポーツを楽しむ公園など、経済や暮らしを支える基盤を整えるのも市の大切な仕事です。

留萌市では、道路整備をはじめとして河川改修、上下水道の整備、まちなみ景観の創造、公園の整備や市街地の緑化、住宅建設や冬期間の除排雪など、市民が安全で安心な生活ができ、快適で楽しい都市環境をつくるために都市施設基盤の整備を進めています。

ひと・まち・ゆめ・みさと

翔く留萌 21

みんなで創る新しいマチ

4

産業や生活を支える都市施設基盤の充実



安全で安心な生活 快適で楽しい環境

川

■治水事業では、安全で快適な市民生活の確保のため、昨年に引き続き次の事業を進めています。

■マサリベツ川改修事業（工期工事、H15年度までの予定）、オタルマセタベツ川支流の改修（H11年度までの予定）。

■今年度から新たにアイトシナイ川の改修（H12年度までの予定）を実施し、都市環境の整備に努めます。

上・下水道

■上下水道事業では、経営の健全化を推進する中で、配水管網整備事

業、水道料金管理のコンピュータシステムの更新を行います。

■市民のための水道として、高品質を保ち、安全で安定した給水の確保、市民サービスの向上に努めます。

■下水道事業では、平成9年度末で供用区域は二六一軒、居住人口一二、九九五人で、約三、八〇〇世帯、約八、二〇〇人が利用しています。

■今年度は、汚水管及び雨水管の計画的整備を進めます。また、水洗化人口の増加に伴い、浄化センターの1日平均処理能力を二、四〇〇m³から四、八〇〇m³に増強します。

まちなみ景観

■国道二二一号の拡幅に伴う、街なみ景観については、拡幅沿線地域の方々の話し合いのもと、昨年「留萌拡幅沿線まちなみ景観ガイドライン」を策定しました。

今年度は、このガイドラインに基づき「景観整備助成要綱」を定め、市街地の入り口として落ち着きとやすらぎの感じられるまちなみの創出に努めます。

公園・緑化

■船場公園は、昨年同様、公園用地の買収を行います。

■浜中運動公園のソフトボール場の改修や各公園のベンチ、遊具などの補修や塗装など、老朽化施設の改善に努めます。

■神居岩公園、浜中運動公園などの緑化に努めます。市民参加型の緑化事業を推進するため、市民植樹祭や記念植樹の実施など、緑豊かで潤いのあるまちづくりを進めます。

■緑化事業については、北海道の進める、パートナーシッププロジェクトとの連携のもとに「100年前の地域の良好な自然環境の再現」をテーマに、事業をすすめます。

道路

■市道は、通勤・通学、買い物など市民生活に一番密着した道路です。市道の整備では、昨年度に引き続き、路線の改良と舗装工事を進めています。東雲通り（工期工事、H11年度までの予定）、西5号通り（H10年度完了）、南町9号通り（H10年度完了）、2号線（H14年度までの予定）。

■今年度は、新たに東雲11号通りの整備事業（H12年度までの予定）に着手しています。

■臨時地方法道整備事業により、幹線と住居などの生活空間とを結ぶ生活路線の改良、舗装や歩道、側溝の整備を行い、人にやさしい道路整備を計画的に進めています。

今年度は、東雲町、春日町、旭町、大和田、大町、沖見町、開運町の7か所で実施しています。

■潮静地区では、区画整理事業に併せ、今年度から潮静通りの整備（H13年度までの予定）に着手し、緑豊かな住環境の創造に努めます。



公営住宅

■五十嵐町団地の公営住宅建替事業では、昨年完成した10階建て（リラA棟）に引き続き、7階建て30戸（リラB棟、H11年度完成予定）を建設しています。

これは、留萌市シルバーハウジング・プロジェクト事業に基づくもので、30戸のうち高齢者専用住宅10戸、身体障害者住宅2戸を配置します。

■団らん室や集会所を設置、生活援助員を配置し、安心・快適な住環境を目指します。

除排雪

■留萌市は積雪寒冷地域で、坂道も多いため、冬期間の道路交通の安全確保が必要です。

そのため、これまでに5か所でロードヒーティングを実施してきました。今年度も、冬期間のパトロールを徹底し、除排雪の効率化を図り、主要交差点の見通しの確保、横断歩道や坂道の安全確保に一層努力します。

いつまでも
ゆとりとるおいのある生活

